

究で明らかとなったので，個人の行動基準となる価値観を高めることは講習会の最終的目標と言える。傷病者との心理的距離の近さ，特に傷病者への恐れがないことも促進要因であった。バイスタンダーが感じるであろう傷病者への恐怖心や嫌悪感の原因について科学的根拠に基づいて説明し，誤解や偏見を解くことが重要であると考えられる。

結 論

BLS実施意志の強さは，傷病者への介入の度合いが高くなるほど低値であった。BLS実施意志の促進要因として，BLS実施の能力・経験の充足，自分のメリット，個人の行動基準となる価値観，傷病者との心理的距離の近さが明らかとなり，効果的なBLS講習会実施への示唆を得ることができた。

米子医学雑誌優秀論文賞

米子医学会では，当該年度に米子医学雑誌に掲載されたものの中から優秀論文（原著論文1編，症例報告1編）を選考し米子医学雑誌優秀論文賞を授与することになっています。被表彰者には賞状ならびに副賞が授与されます。

受賞者ならびに授賞論文は以下のとおりです。

米子医学雑誌優秀論文賞受賞者（令和5年3月2日表彰）

☆原著論文

橋田勇紀（鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

鳥取県米子市におけるフレイル対策事業の短期効果：介入プログラム開発のための予備的調査
(Vol.73, No.1・2・3 2022)